

コンパスウォーク御前崎 運営規定

通所介護・第1号通所事業

（事業の目的）

第1条 この規定は、リハプライム静岡株式会社が開設するコンパスウォーク御前崎（以下「事業所」という。）が行う通所介護、指定第1号通所事業（以下「指定通所介護等」という。）の事業（以下「事業」という。）の適切な運営を確保するため、人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の従業者が、要介護状態（介護予防にあっては要支援状態又は事業対象者）にある利用者に対し、適正な指定通所介護等を提供することを目的とする。

（事業の運営の方針）

- 第2条
- 1 事業の実施に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供を努めるものとする。
 - 2 指定通所介護事業は、利用者が要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。
 - 3 指定介護予防通所介護サービスは、利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。
 - 4 事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター及びその他の居宅サービス事業者並びにその他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

（事業所の名称等）

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- （1）名 称 コンパスウォーク御前崎
- （2）所在地 静岡県御前崎市池新田3960-1

（従業者の職種、員数及び職務の内容）

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

- （1）管理者 1人
事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行うとともに、従業者に事業に関する法令等の規定を遵守させるため必要な指揮命令を行う。
- （2）従業者
生活相談員 1人以上
利用者及び家族等からの相談に応じ、従業者に対する技術指導、事業計画の作成、関係機関との連絡調整等を行う。
看護職員 1人以上
利用者の日々の健康状態のチェック、保健衛生上の指導や看護を行う。
介護職員 3人以上
介護職員は、利用者への車両への移乗・排泄等の介助及び援助を行う。
機能訓練指導員 1人以上
機能の減衰を防止するための訓練を行う。

（営業日及び営業時間）

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- （1）営業日 月曜日から金曜日まで（祝日含む）とする。ただし、12月31日から1月3日までを除く。
- （2）営業時間 8時30分から17時30分までとする。
- （3）サービス提供時間 1単位目 9時00分から12時05分まで

(指定通所介護等利用定員)

第6条 事業所の利用定員は、1単位目24人、2単位目24人とする。

(指定通所介護等の内容及び利用料その他の費用の額)

第7条 1 指定通所介護等の内容は次のとおりとする。指定通所介護を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該指定通所介護が法定代理受領サービスであるときは、介護報酬告示上の額に対し、介護保険負担割合証による自己負担割合に応じた額とする。又、指定第1号通所事業を提供した場合の利用料の額は、各区市町村長の定める額とし、当該指定第1号通所事業が法定代理受領サービスであるときは、各区市町村長の定める要綱上の額に負担割合証に記載の負担額を乗じた額とする。

- (1) 日常生活動作の機能訓練
- (2) 健康状態チェック、保健衛生上の指導や看護
- (3) 送迎
- (4) 利用者及び家族等からの相談
- (5) 排泄等の介助及び援助

2 その他の費用として、次に掲げる費用の額を徴収する。

- (1) 日常生活に要する費用 実費

3 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いの同意として重要事項説明書に署名（記名押印）を受けることとする。

(通常の事業の実施地域)

第8条 通常の事業の実施地域は、御前崎市、掛川市、菊川市、牧之原市の区域とする。

(サービスの利用に当たっての留意事項)

第9条 1 従業者は、利用者に対して従業者の指示に従ってサービス提供を受けてもらうよう指示を行う。

2 従業者は、事前に利用者に対して次の点に留意するよう指示を行う。

- (1) 主治の医師からの指示事項等がある場合には申し出る。
- (2) 気分が悪くなったときは速やかに申し出る。
- (3) 体調不良等によって指定通所介護等に適さないと判断される場合には、サービスの提供を中止することがある。

(緊急時における対応方法)

第10条 指定通所介護等の提供中に、利用者に病状の急変その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治の医師に連絡を行う等の措置を講じる。

(非常災害対策)

第11条 事業所は、防火管理又は火気・消防等についての責任者を定め、消防計画および水害・土砂災害を含む非常災害対策計画を作成し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う。

(苦情処理)

第12条 1 指定通所介護等の提供に係る利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講じる。

2 提供した指定通所介護等に関し、市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村

の職員からの質問若しくは照会に応じ及び市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行う。

3 提供した指定通所介護等に関する苦情に関して国民健康保険団体連合会が行う調査に協力するとともに、国民健康保険団体連合会から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行う。

4 提供した指定通所介護等に関する利用者からの苦情に関して、市町村等が派遣する者が相談及び援助を行

う事業その他の市町村が実施する事業に協力するよう努める。

（事故発生時の対応）

- 第13条 1 利用者に対する指定通所介護等の提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、利用者の家族、介護支援専門員（第1号通所事業にあっては地域包括支援センター）等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。
- 2 前項の事項の状況及び事故に際して採った処置を記録する。
- 3 利用者に賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

（虐待防止に関する事項）

- 第14条 1 事業所は、利用者の人権擁護・虐待の防止のため次の措置を講ずるものとする。
- 一 虐待を防止するための従業者に対する研修の実施
 - 二 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
 - 三 その他虐待防止のために必要な措置
- 2 事業所は、指定通所介護等の提供中に、従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに市町村に通報するものとする。

（身体拘束等の原則禁止）

- 第15条 1 事業所は、指定通所介護等の提供にあたっては、利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為（以下「身体拘束等」という。）を行わない。
- 2 事業所は、やむを得ず身体拘束等を行う場合には、本人又は家族に対し、身体拘束の内容、理由、期間等について説明し同意を得た上で、その態様及び時間、その際の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由など必要な事項を記載することとする。

（個人情報の保護）

- 第16条 1 利用者又その家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が作成した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」を遵守し適切な取扱いに努めるものとする。
- 2 事業所が得た利用者又はその家族の個人情報については、事業所での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその家族の同意を得るものとする。

（その他運営に関する重要事項）

- 第17条 1 従業者の質的向上を図るため、人権の擁護、虐待の防止、認知症介護、介護予防等に関する研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務体制を整備する。
- （1）採用時研修 採用後1か月以内
 - （2）継続研修 年1回
- 2 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容に含むものとする。
- 4 この重要事項に定める事項のほか、運営に関する重要事項はリハプライム静岡株式会社の代表取締役とコンパスワーク御前崎の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、令和5年7月1日から施行する。